

癌化学療法名

大腸癌 ラムシルマブ+FOLFIRI療法

実施部署	外来・入院	1クール日数	14day	未承認
番号	抗がん剤名・略称	1日投与量	投与方法	投与日
1	ラムシルマブ:サイラムザ	8mg/kg	div.(点滴静注)	day1
2	CPT-11:カンプト	150mg/m <sup>2</sup>	div.(点滴静注)	day1
3	LV:レボホリナート	100mg/m <sup>2</sup>	div.(点滴静注)	day1
4	5-FU	400mg/m <sup>2</sup>	div.(ボラス)	day1
5	5-FU	2400mg/m <sup>2</sup>	div.(持続注静注)	day1
コメント	<p>・サイラムザ投与30分前までに レスタミン錠(10mg) 5錠+デキサート注+ファモチジン注を投与</p> <p>・PVCフリー輸液セット使用</p> <p>・サイラムザ投与によるinfusion reactionの発現確認のため、。</p> <p>・サイラムザの調製は生食のみ。フィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用し、使用したラインは生食でフラッシュすること。</p>			

投与日	薬剤名	ルート	時間
day1	① グラニセトロン1mgバッグ + デキサート注 (開始時、レスタミン錠10mg 5錠内服)	div	15分
	② ファモチジン注20mg	iv	
	③ サイラムザ注8mg/kg + 生食250mL	div	60分
	④ フラッシュ ; 生食50mL	div	* 60分or急速静注
	⑤ レボホリナート200mg/m <sup>2</sup> + 生食 250mL	div	120分
	⑥ カンプト150mg/m <sup>2</sup> + 生食 250mL (⑤と⑥は同時投与)	div	120分
	⑦ 5-FU400mg/m <sup>2</sup> + 生食 100mL (輸液ポンプはずして全開で)	全開	約15分
	⑧ 5-FU2400mg/m <sup>2</sup> + 生食 (携帯ポンプで全量100mL)	持続	約46時間
day3	① 生食20mL	フラッシュ	
	② ヘパリンNaロック用100単位 5mL		